

James Molloy - MIRA Newsletter #17

JIMのみしまものがたり⑪

こなたの夏、かなたの夏

カナダの東海岸ニューファンドランドで育った私に、エアコンは無縁なものでした。みなさんには信じられないかもしれません、短くて温暖な夏を「暑い」と思った記憶がありません。どの家も薪ストーブや暖炉で温かくなっている冬こそ、暑さを感じられる季節なのです。そのため冬のタペはTシャツなどの薄着で過ごすくらいだと言えば、びっくりする方もいらっしゃるでしょうか。

来日前から日本の四季が有名であることは知っていましたが、実際日本の夏がどんなに暑くて蒸し蒸しするかは全く想像していませんでした。夏に日本を訪れる観光客のほとんどは、来日前の私と同じ感覚ではないかと思います。

今年の夏は、恐らく史上最も暑い夏のひとつとして記録に残るでしょう。涼風が吹き抜ける秋の訪れを今か今かと待っている方も多いと思われますが、ここはひとつ、昔から日本で培われてきた工夫あふれる夏の習慣について振り返ってみましょうか。



1995年、初めて日本で迎えた夏、私はかき氷なる素晴らしい食べ物を知ったのでした。祭りから祭りをはしごし、新しい味のかき氷に挑戦しながら、かき氷が老いも若きをも涼しくさせるパワーを観察していました。そしてまたみなさんを驚かせてしまうかもしれません、カナダにいた時には一度も "shaved ice" や "snow cone" と呼ばれるかき氷を食べたことがありませんでした。かき氷に一番近いと考えられるのは "maple taffy" という「冬」の食べ物です。メープルシロップの生産量が世界最大のケベックでは、降ったばかりのきれいな雪にあつあつのメープルシロップをかけ、シロップが固くなったら棒でくるくるとすくって食べる習慣があるのです。冬にカナダを訪れる予定がある方は、maple taffyを食べてみてください。旅行の素敵な思い出になることは間違ひありません。

かき氷以外にも、日本には夏ならではの食べ物があります。ニューファンドランドでは、旬の食べ物は6月ごろ浜に寄せるシシャモか、9月中旬ぐらいに実るブルーベリー（ちなみに収穫したものは、どちらもお持ち帰り自由）くらいしか思い当たりません。日本には冷やし中華、うどん、そばなど冷たい料理がありますね。特に氷にのせたそうめんを葉生姜や味噌と一緒に食べるのが、私のお気に入りです。

旬の食べ物のほかにも、きれいな装飾が施された扇やうちわ、繊細で涼しげな音色を奏でる風鈴、屋内で涼をとるための打ち水。それに、ピアガーデンで友達や同僚と楽しむ暑気払い！

日本には夏を楽しく過ごす暮らしの知恵が根づいていると感じます。

確かに今夏は酷暑でしたが、涼しさを感じるちょっとした工夫で、暑さが和らいだものです。これら以外にも日本の夏を楽しく涼む方法があれば、是非教えてください。



～「やさしい日本語」で話してみよう～

「やさしい日本語」とは、普段使っている言葉を外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語のことです。

あなたも「やさしい日本語」で、身近な外国人と話してみませんか。

NO.
6

職場での「やさしい日本語」

現在、日本で働く外国人は100万人を超えています。そして、その多くは英語を話さない国の出身です。彼らは日本語を少し勉強してから来日しますが、日本人が普通に話す日本語を理解するのは難しいのが現実です。「やさしい日本語」の研修を行った企業では、業務での会話が伝わるようになっただけでなく、互いの文化や習慣の違いがわかりスタッフ間の交流も生まれたといいます。「やさしい日本語」が、職場や地域でもっと広まるといいですね。

【やさしい日本語のポイント おさらい】

- ①ゆっくり話す ②はっきり話す
- ③最後までしっかり話す △「～なんですか…」 ○「～です。」
- ④一文を短くする